



学校だより

令和7年 1月 8日

東京都立村山特別支援学校

校長 阿部 智子

〒208-0012

武蔵村山市緑が丘 1460 番地 1

電話：042-564-2781

「おだやかな令和7年が始まりました。」

新たな年を迎えました。1月1日（元旦）の東京都心は10年連続「快晴」なのだそうです。おだやかな、とても良いお天気でした。ただ空気は乾燥していますので、寒くても水分補給は重要です。風邪などのさまざまなウイルス感染に注意を払う必要があります。子供たちの学びを止めずに、2025年（令和7年）も前へ前へと進んで行けますよう、御協力をお願いいたします。

【読み聞かせ会を定着させること…楽しむこと、安心して考えること】



保護者の方の参観もあり、とても楽しい時間を笑顔で過ごすことができました。

本校のHPに読み聞かせ劇団「ぎ・ひさまつ」をお招きし、12月に読み聞かせ会を行ったことを載せました。場面に合わせて声色や声量が変わったり、木琴やアコーディオンなどの効果音が入ったり、楽しい仕掛けがたくさんありました。「読み聞かせ劇団」というお名前からも、本を使った演劇を全校で楽しむ会となりました。この日は、また、9月から始まったPTA読み聞かせ会「むらやまブックローバー」も毎月着実に実施していただいている、令和7年1月も、1月9日、23日にPTA「むらやまブックローバー」が読み聞かせに来てくださいます。子供たちにとって皆で楽しい時間を過ごすことはとても有意義なことですが、毎日の生活の中で継続的に安心して「ものを見る」「読んでいる声を静かに聞いて考える」時間もまた、とても大切なことです。安心して聞くことができる声のトーンで、絵本の世界観を読み手と聞き手が共有します。子供たちが実際に体験したことのない場所や風景や人物が、絵本の中に描かれていますから、日常とは違う言葉や表現が出てきます。「これは何かな？」と、感じるものがヒトやモノへの興味にもつながりますね。いつもながら、保護者の方々に感謝申し上げたいのは「続けてくださっている」こと。いつも自分を守ってくれる大人の優しい声は、子供たちを安心させ安定させます。大切なコミュニケーションタイムである「むらやまブックローバー」を今年も続けていきたいと考えています。

【令和7年 私の一字】

1月8日始業式で児童・生徒に「今年の私の漢字一字」の話をしました。今年は小学校3年生で習う漢字200字の一つである「進」（しん・すすむ）です。実は、私の去年の漢字は「調」、一昨年は、「動」、一昨々年は、「考」でした。コロナウイルス感染症に翻弄（ほんろう）された三年間は、大変だったけれど、「考えて動いて、調整して」過ごしてきました。さあ、それでは令和7年はどうしようかなと考えましたが、今年はへび年ですから、ゆっくりと、よろよろと、あちらこちら寄り道しながらも着実に『進んでいこう』と思います。

「校長先生は、毎年、その一年をどのように過ごしていくのかを漢字一文字で表すのだけれど、今年は、『進んでいく』という意識をもってやってみようと思う。」という話をいたしました。児童・生徒には「皆さんは、今年一年をどのような年にしたいですか？ やってみたいことに挑戦するために、ぜひ自分の、今年のスタイルを言葉にしてみてください。あなたの今年の目標を漢字一字で表すと何ですか？」と問い掛けています。私は、軽やかに、細やかに、しなやかに『進むこと』を、心掛けてまいります。

【高等部入学相談 1月29日（水）】

1月は、次年度に向けての準備が始まる時期です。お知らせしているとおり、1月29日（水）は高等部の入学相談があります。学部が変わって進学することについて、御家庭でもぜひ、話題にしていいただければと考えます。特に義務教育を終えての高等部への進学は、願書提出から入学相談を経て、合格発表までの流れの中で、自分で進学を決めたのだという気持ちを高めるためにも、少しずつ準備を進めていきます。小学部、中学部、高等部それぞれの学部で3月の卒業式に向けての学習や練習も本格的になってきます。3学期は一年のまとめをするとともに次のステップに進んでいくための大切な時期です。御協力の程、よろしく願いいたします。

校長 阿部 智子